

みずほCustomer Desk Report 2019/10/25 号(As of 2019/10/24)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	108.69
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	108.63	1.1132	120.90	1.2920	0.6850
SYD-NY High	108.75	1.1163	121.38	1.2950	0.6857
SYD-NY Low	108.50	1.1094	120.44	1.2790	0.6811
NY 5:00 PM	108.64	1.1104	120.63	1.2855	0.6817
NY DOW	26,805.53	▲ 28.42	日本2年債	-0.25	0.00bp
NASDAQ	8,185.80	66.00	日本10年債	-0.15	▲ 1.00bp
S&P	3,010.29	5.77	米国2年債	1.5807	▲ 0.60bp
日経平均	22,750.60	125.22	米国5年債	1.5873	▲ 0.60bp
TOPIX	1,643.74	5.60	米国10年債	1.7704	0.35bp
シカゴ日経先物	22,825.00	20	独10年債	-0.4070	▲ 1.35bp
ロンドンFT	7,328.25	67.51	英10年債	0.6205	▲ 6.15bp
DAX	12,872.10	73.91	豪10年債	1.0890	▲ 1.45bp
ハンセン指数	26,797.95	231.22	USDJPY 1M Vol	5.32	▲ 0.16%
上海総合	2,940.92	▲ 0.70	USDJPY 3M Vol	5.70	0.01%
NY金	1,504.70	9.00	USDJPY 6M Vol	6.20	0.03%
WTI	56.23	0.26	USDJPY 1M 25RR	-0.98	Yen Call Over
CRB指数	177.71	0.41	EURJPY 3M Vol	6.33	▲ 0.09%
ドルインデックス	97.63	0.14	EURJPY 6M Vol	6.65	▲ 0.13%

東京	東京時間のドル円は108.63レベルでオープン。米国時間に行われるペンス副大統領の対中政策に関する演説への警戒感や、EU離脱期限がいつまで延長されるかが25日に決まることなど、重要イベントが控えるなかドル円は小動き。東京時間のドル円は上下8銭程度の動きに留まり108.60レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、108.60レベルでオープン。特段の材料がない中でドル円は方向感のない推移、108.59-75のレンジで取引され108.65レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1134レベルでオープン。朝方、仏10月PMIが予想を上回ると1.1163まで買われるが、続く独10月PMIが予想を下回ると売り戻される。昼過ぎにECB理事会の結果を控える中でじりじりと値を下げ、ECBが政策据え置きを発表する中、1.1121に低下しそのままNYに渡った。ポンドドルは、1.2921レベルでオープン。朝方「労働党はEUが離脱延期を認めれば解散総選挙を支持」との一部報道で1.2950まで買われるが続くが、逆に売り戻りに押されると1.2875まで下落。その後はもみ合いとなり1.2897レベルでNYに渡った。(ロンドン・フリー 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	海外市場のドル円は、ペンス副大統領の対中政策に関する演説を控え、様子見ムードが強く、108.60を挟んだ狭いレンジで推移し、108.65レベルでNYオープン。朝方は米9月耐久財受注が予想を下回り、ドル売りで反応したことから108.50まで下落。しかし、米10月製造業PMIが予想を上回ったこと等によりサポートされ、この水準で下げ止まる。その後、ペンス副大統領演説では「香港における中国の行動は、自由と権利を抑圧する」、「米大統領は中国との合意は可能だと前向きに信じている」等の発言があったが、ドル円は反応薄。午後は手掛かり材料が乏しい中、108.60近辺で方向感の無い推移。午幅15銭で終始し、108.64レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは、仏10月PMIが製造業、サービス業ともに予想を上回ったことから1.1163まで上昇するが、その後発表されたドイツとユーロ圏の10月PMIが予想を下回ると、上げ幅を全て吐き出す。早朝はECB理事会で政策金利の据え置きが発表されるが、予想通りの結果に値動きは限定され、1.1121レベルでNYオープン。朝方は、ドラギECB総裁が記者会見で「下振れリスクは顕著でインフレは低い」、「9月以降のデータは金融緩和の判断を正当化した」と述べた。会見中にユーロの買い戻しが先行し、1.1153をつけるが、欧州景気の後退懸念が燃る中、買いは長く続かず、往って来いとなる。その後、ブレグジットを巡り、英国で総選挙実施の可能性を受け、下落するポンドに連れ安となり、1.1093を付ける。売り一巡後、1.1100付近の狭いレンジで推移し、1.1104レベルでクローズ。

市場営業部 為替営業第二チーム

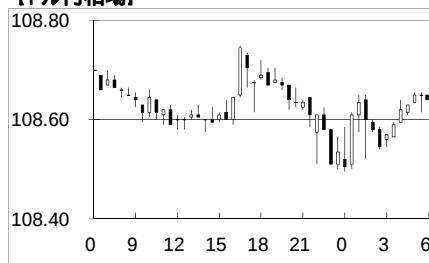
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月24日	16:30	独 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)	10月 41.9/51.2/48.6	42.0/52.0/48.8
	17:00	欧 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)	10月 45.7/51.8/50.2	46.0/51.9/50.3
	20:45	欧 ECB理事会 ECB主要政策金利	- 0.00%/0.25%/-0.50%	0.00%/0.25%/-0.50%
	21:30	欧 ドラギECB総裁「景気見通しに対するリスク、依然として下振れ方向」		
	21:30	米 耐久財受注(前月比)/同(除く輸送用機器・前月比)・速報	9月 -1.1%/-0.3%	-0.7%/-0.2%
	22:45	米 マークイット製造業/サービス業/総合PMI	10月 51.5/51.0/51.2	50.9/51.0/-
	23:00	米 新築住宅販売件数	9月 701k	702k

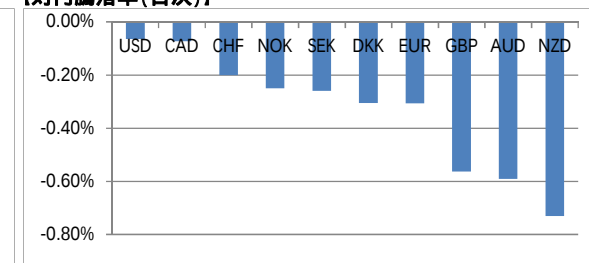
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月25日	17:00	独 IFO指数(企業景況感/期待/現況)	10月 94.5/91.0/98.0	94.6/90.8/98.5
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド	10月 96.0	96.0

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケットインプレッション】ドラギ総裁最後のECB理事会は現状維持

昨日のECB理事会はドラギ総裁の最後の理事会となったが、政策については市場予想通りの現状維持となった。フォワードガイダンスに変更なく、中銀預金金利を▲0.5%で据え置き、資産買い入れプログラムは予定通り11月1日より開始されるとの内容。買い入れ金額についても、月額20bblnユーロと変更なかった。2011年にECBの総裁に就任以来、当時大規模な緩和でスーパーマリオといわれ、今年9月に再び緩和を行ったドラギECB総裁。その内容は、利下げや金利階層化、資産買い入れ再開、TLTRO の条件緩和など、フルパッケージであった。今回は最後の会合ということもあり、政策変更を行えなかったのであろう。そもそも、9月の議事要旨を見ると、理事会のメンバーからも反対意見があり、今回の会合における政策変更のハードルは高かったと思われる。

一方、ユーロ圏の経済は明確に減速している。ユーロ圏及びドイツ、イタリアの製造業PMIは50を下回る水準で推移。ユーロ圏の銀行貸出し調査については、企業向けと信は2018年をピークに伸び悩みの状況が続いている。今回のECB理事会では比較的ハト派といわれているクリスティーン・ラガルド次期総裁の次の一手に注目が集まる。政治家出身ということもあり、当面は現在の金融緩和を継続するだろう。いずれにしても、足許は英国によるブレグジット動向が大詰めを迎える中、ユーロ及び周辺国通貨はGBPに追従する形で、ヘッドラインに振られる展開が継続しそうだ。(原田)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:原田 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

	竹内	加藤	関	光石	岡本	上野	原田	玉井	ブル	ベア
Today	ベア	ベア	ベア	ブル	ベア	ブル	ベア	ベア	2	7
Week	ベア	ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ベア	ベア	3	6